

# データ連携基盤活用モデル事例創出事業の 対応結果報告



- 東北電力100%子会社として2021年4月1日に設立された新しい会社です。
- 東北電力グループ中長期ビジョン(よりそうnext)に掲げたスマート社会実現事業の中核会社として、「東北発のスマート社会」の実現を目指します。
- 「じぶん時間・かぞく時間を楽しむ・つくる・ささえる」サービスを、電気とパッケージ化してお客さまにつぎつぎと提供し、お客さまと東北・新潟地域のお役に立ちます。



じぶん時間・かぞく時間をつくる・ささえる



パーソナライズコーヒーの定期便サービス



絵本の定期購入で、かぞく時間にトキメキを



子供服の買取・販売コミュニティ



東北電力フロンティアが紹介する新車カーリースサービス



クラフトビール診断で自分好みのビールをお届け



キャンプ体験&キャンプ用品レンタルサービス



話題の生活家電や美容家電が定額で交換し放題



安心・安全な飲料水宅配サービス



IoT技術を活用した登下校子ども見守りサービス

- 株式会社ottaと連携して新潟県新潟市、福島県川俣町へ子ども見守りサービスの提供を行っている。
- 具体的には、専用の基地局が見守り端末のビーコンの信号を受信し、その位置情報を保護者や自治体担当者が確認できるシステムになっており、データ連携基盤活用モデル創出事例の対応は本サービスを活用し進めた。

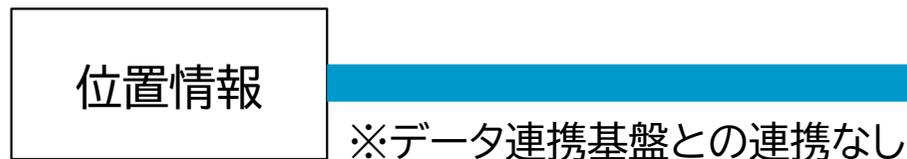
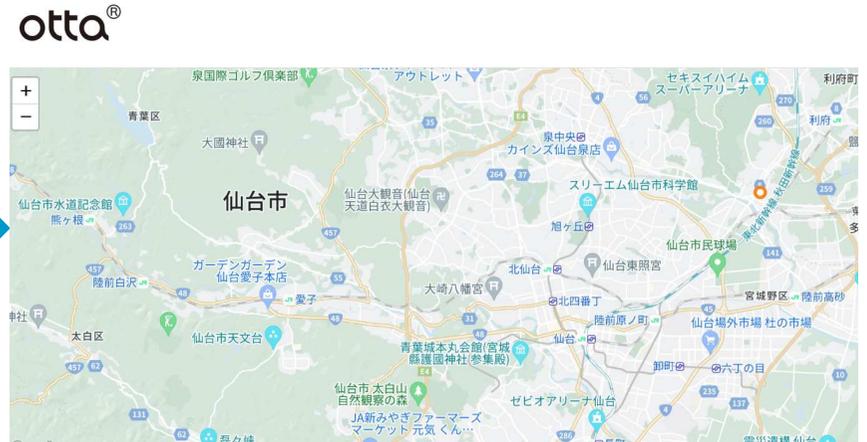


- 災害時における自治体担当者の業務効率化および人的被害の軽減を目的に、見守り基地局設置場所と避難所を一元管理できる見守りポイントマップを構築する。
- データ連携基盤からの連携は、災害時に屋内へ避難することを想定し、「指定避難所一覧」の①高砂市民センター、②岩切東コミュニティセンター、③桜丘小学校とする。
- 実証については、岩切東コミュニティセンターに見守り端末を持った避難行動要支援者が避難したと想定し、自治体専用システムで位置情報を確認し、検知した位置情報が指定避難所であるか見守りポイントマップで確認を行う。

※アンデックス様で対応



- 避難所オープンデータから実証場所の避難所情報をピックアップし、FIWAREへデータ登録。
- FIWARE経由でデータを取り出し、反映、可視化させる。



- 8～9月に要件定義、11～1月に避難所データの取得やottaフォーマットへの変換作業、マップサイトのファイル更新等を実施した。

実績 ←→

	令和5年度																								
	8月				9月				10月				11月				12月				1月				
対応内容	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	8	15	22	29
要件定義	←→																								
データ連携基盤へのつなぎ込み(対応なし)																									
事業者システム改修														←→											
結合テスト																						←→			
バグ修正																						←→			
本番適用、リリース																						←→			

## <データ連携基盤の対応結果>

手順1

FIWAREより  
指定避難所データ取得

手順2

取得したデータを  
ottaフォーマットに変換

手順3

必要なデータのみを抽出し、  
マップサイトのファイル更新



- 学校の見守りスポット  
(位置記録と通知)
- 街中の見守りスポット  
(位置記録と通知)
- 街中の見守りスポット  
(位置記録のみ)
- 設置予定の見守りスポット
- 避難所

otta見守りポイントマップへの避難所データの反映は3か所のみとしたが、FIWAREに格納されたデータの中から必要なデータのみを抽出する必要があったため、結果的に作業量が多くなってしまった。

- 岩切東コミュニティセンター(仙台市宮城野区岩切字青津目137番地の8)を避難場所と想定して実証する。

## <岩切東コミュニティセンター>

- 会議室に見守り基地局を設置
- 見守り端末を持った避難行動要支援者が岩切東コミュニティセンターに避難した想定し実施。(見守り端末は計5台使用)

## <仙台市>

- 避難行動要支援者の位置情報を自治体管理画面より確認する
- 検知した位置情報がデータ連携基盤より連携した指定避難所と一致するか見守りポイントマップで確認する

位置情報を記録・管理

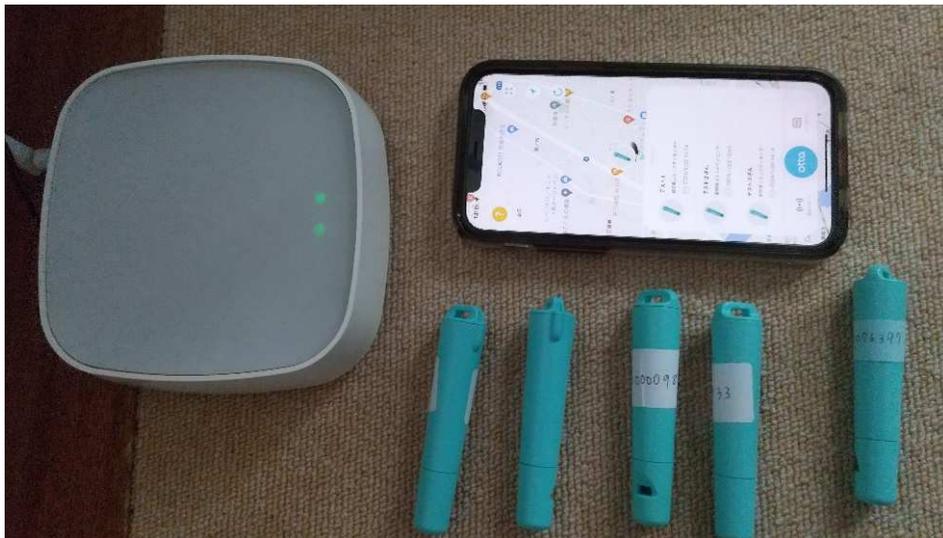


otta® 宮城県仙台市エリア

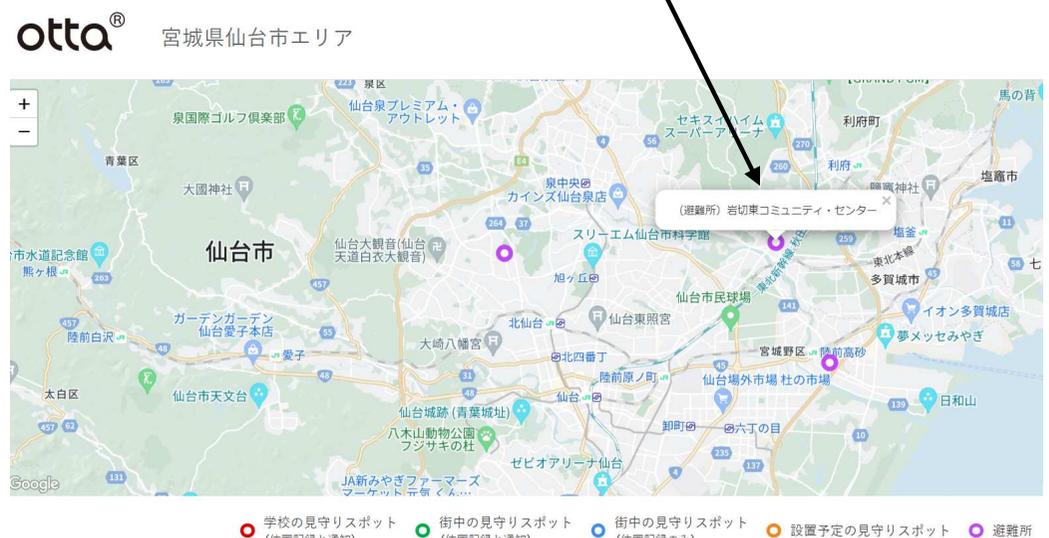


- 岩切東コミュニティセンターの会議室に見守り基地局を設置し、見守り端末を徐々に近づけていき、自治体管理画面に表示された場所がデータ連携基盤より連携させた見守りポイントマップと一致することを確認した。

実証場所



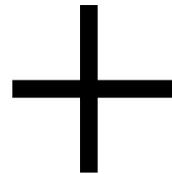
各種画面



● 学校の見守りスポット (位置記録と通知) ● 街中の見守りスポット (位置記録と通知) ● 街中の見守りスポット (位置記録のみ) ● 設置予定の見守りスポット ● 避難所

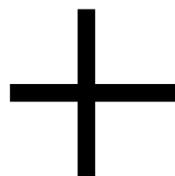
## (1)津波発生

- 津波避難エリアと小学校区のオープンデータを組み合わせる。
- 地震発生等の影響に伴い、津波注意報が発令した際は、津波避難エリアの小学校区に通う利用者に対し、「津波注意報が発令されました」等のアプリ通知を行う。



## (2) 大気汚染

- 大気汚染常時監視データと小学校区のオープンデータを組み合わせる。
- 大気汚染の測定値が高い傾向にある日に、そのエリア付近の小学校区に通う利用者に対し、アプリ通知を行う。



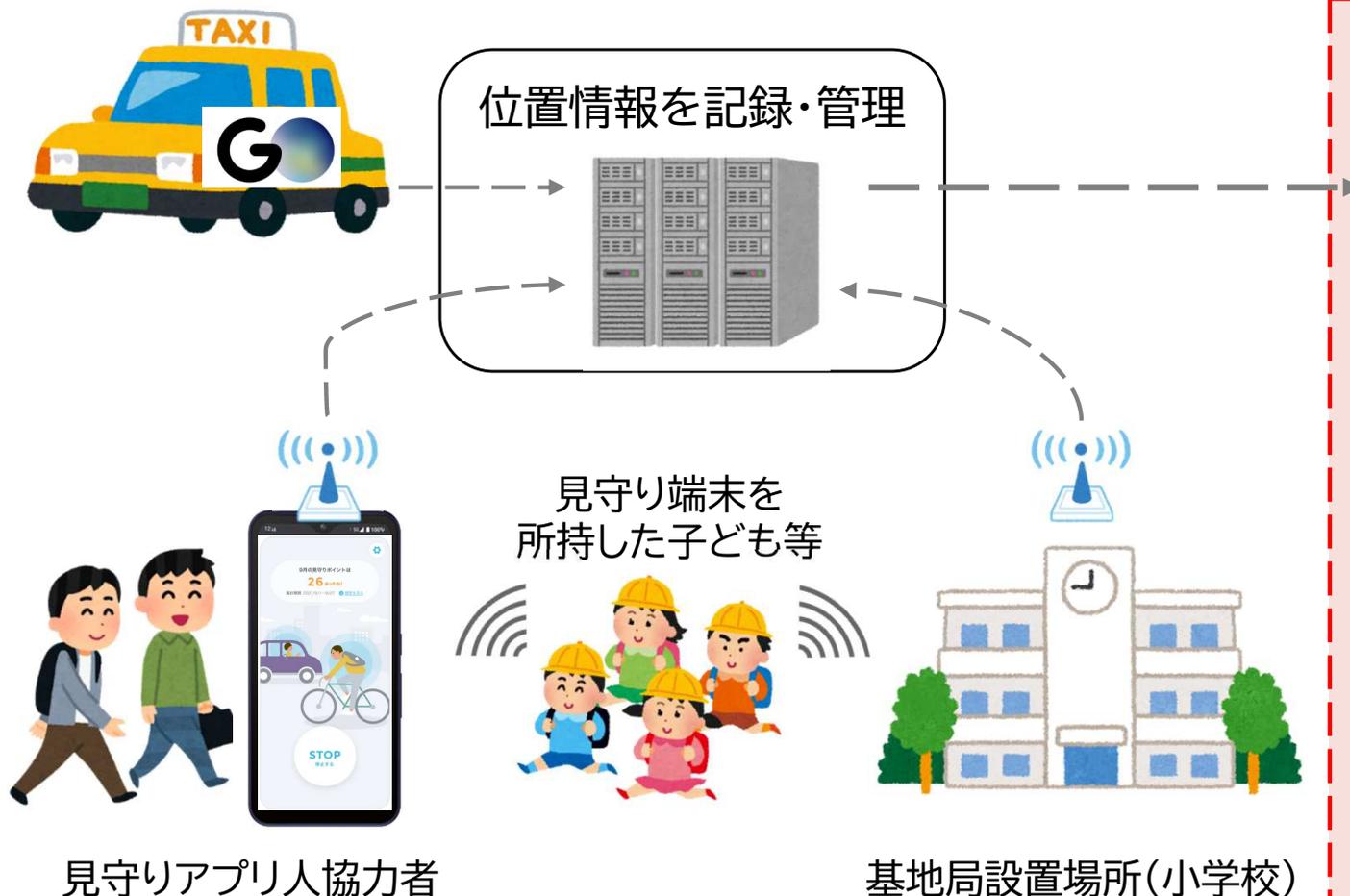
局名	月日	時間	測定値
中山	4/1	0:00	1
岩切	4/1	0:00	2
鶴谷	4/1	0:00	0
中野	4/1	0:00	0
高砂	4/1	0:00	9999
榴岡	4/1	0:00	9999
七郷	4/1	0:00	2
長町	4/1	0:00	0
山田	4/1	0:00	0
泉	4/1	0:00	0
愛子	4/1	0:00	1

...

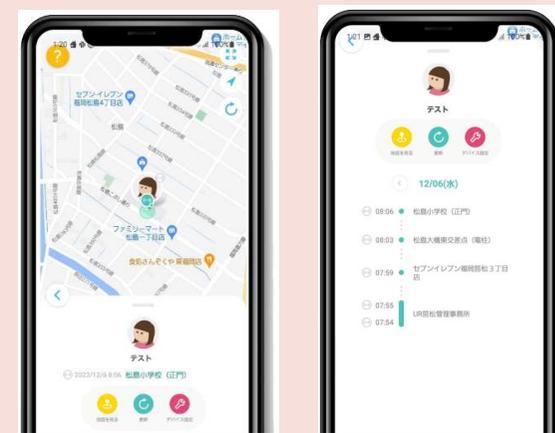
⋮

- 指定避難所となっている小学校が多いことから、新潟県新潟市、福島県川俣町で実施している子ども見守りサービスを導入することで、災害時に備えた平常時からの見守りを行うことが可能となる。
- 見守りエリアを面的に広げていくことで、高齢者の見守りへ転用できる可能性があり、災害時における本サービスの有効性がさらに高まると考えている。

## 見守りタクシー



## <保護者・介護者>



## <自治体・警察>

